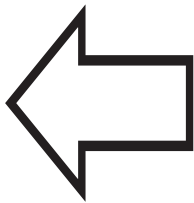


一般質問

順序	質問者氏名	質問事項
3月4日 (月)	牛島 孝之	1 小中学校の空調について
		2 学校週6日制について教育委員会の考えは
		3 八女市の再生可能エネルギーに対する今後の取り組みについて
		4 八女市の機構改革について
	森 茂生	1 豪雨災害について
	伊井 渡	1 市職員給与、手当
	樋口安癸次	1 県道玉名八女線北山地区の改良について
		2 県道玉名八女線の白木、和水町間のトンネル事業について
		3 県道柳瀬筑後線新庄変則五ツ角の改修について
		4 エレベータ付き市営住宅
3月5日 (火)	三角 真弓	1 2町2村との合併の検証
		2 安全・安心のまちづくりについて
	松崎 辰義	1 九州北部豪雨災害について
		2 教育行政について
	橋爪 房義	1 老朽化した小河川・水路等の積極的な改修の推進について
		2 職員の人材育成対策と行政のスピードアップについて
	角田 恵一	1 有害鳥獣対策について
2 再生可能エネルギーについて		
3月6日 (水)	小川 栄一	1 公立学校の学力向上への取り組み
		2 防災対策会議
		3 民間業者との協働のスタンス
		4 各審議会のあり方
	大坪久美子	1 医療費削減のための施策について
	井本 政弘	1 環境問題について
		2 九州北部豪雨災害被災者への支援について
3 市役所本庁庁舎の諸問題について		

《一般質問の詳しい内容》





一般質問とは

市の政治、行政全般にわたり、市長の方針、見解、事実の説明、報告を求めたものです。
議員は、質問により、政治、行政などを批判し、自己の意見を表明することができます。

議会だよりの一般質問原稿も議員自ら作成していただきますが、字数制限があるため、全ての質問答弁を掲載することができません。

ご質問が掲載できない質問答弁は、八女市議会ホームページまたは、市立図書館(分館含む)で閲覧することができます。



牛島 孝之

小中学校の空調について、八女市の考えは、どうなっているのか

答 平成24年度補正予算に空調設備工事費を計上している

問 電気料が発生するが

学校教育課としての考えは。

答 各小中学校合計で約260万円位と計画しており市で負担する。

問 学校週6日制について

学校週6日制について教育委員会の考えは。

答 現時点において学校週6日制の導入は考えていない。

問 八女市の機構改革について

今後黒木総合支所はどのような役割をするのか。

答 災害発生時の対応役割は重要である。今後総合支所の在り方について十分検証するとともに、25年度以降の機構改革において検討を行っていききたい。

問 民間委託されている業務について

民間委託されている業務についての精査及び今後の計画は。

答 可燃ごみ収集運搬業務、学校給食等先行実施した事例をもとに検証を進め、結果を踏まえた実施計画などを策定していきたい。



八女市役所黒木総合支所



森 茂 生



被災した水田

「水門からものすごい勢いで逆流していた」という証言もあるが

答 早急な解決策を国・県に要望する

問 豪雨災害について
山下地区の水門が適正に操作され、越流もなかったと仮定すれば浸水の水位が2m低くなるという話もある。県が水門を設置し、要望により、今度は撤去した。県の対応が非常にまずかったのでは。

答 国直轄でやってもらわないと根本的な解決は出ないのでは。

問 根本的な解決が出来るまで、水門を放置するわけにはいかない。又、県の関係者が「山

答 今後、さまざまな支援策を考える。

問 農家負担ゼロにしても交付税措置はあり、むしろ国は農家負担ゼロを想定している。八女市はもっと負担すべきだ。

答 県を通して確認したが90%は交付税対象になる。修正する。

問 「農家負担ゼロにすると、全部が交付税対象にならず、八女市に莫大な影響を与える」と言われたが、読み違えたのではないか。

て抗議しておく。
災害の財政問題について

持家手当は、県人事委員会も勧告廃止したので、即刻廃止すべきでは

答 他市町村の状況を勘案し、検討していく



伊 井 渡



問 市職員一人当たり年間人件費は、退職負担金、共済費等を含めれば約920万円にもなり、市内民間水準約460万円の2倍にもなるが、異常高すぎると思われませんか。

答 民間準拠している人事院勧告を尊重、遵守し、近隣自治体との均衡を図り決定している。

問 国家公務員給与7・8%削減に伴い、7月から地方交付税が、その分減額されると思うが、市はどう対処されるのか。

答 全国市長会、近隣自治体の状況を踏まえ、今後検討する所存である。

問 全職員の給料高過ぎ、分は約36億円にもなり、固定資産税約34億円より多いので、市長が市内給与と所得者水準くらいの職員給与と適正化議案と、固定資産など税金の大幅引き下げ議案を提案すれば、市民は大歓迎され議員としても反対理由はなく賛成多数で可決すると思うが。

答 そついう考えは現時点ではない。

問 今回も市民軽視・無視、職員優遇の発言で残念だった、今後一刻も早く官民格差のない行政に着手される事を期待する。

県道玉名八女線の白木～和水町間のトンネル事業について



樋 口 安 癸 次

答 福岡県にこの事業ができるよう要望書を提出している



白木・和水町間のトンネル

問 和水町は和水町でがんばっているのが、八女市もしっかりとがんばってほしい。

答 それぞれ1月18日に

問 八女市においては、

早急に、この事業が実現できるように福岡県には県

土整備部長村山一弥様へ

の要望活動を行い、交

通危険箇所改善に努め

たいと考えている。

問 エレベーター付きの

市営住宅を是非建ててい

ただきたい。

答 市営住宅等の長寿命

化計画を策定中であり、

エレベーターの設置について

は、国の評価基準等に基

づき設置するところになると

考えている。



三 角 真 弓



八女区保護司の研修会

3年経過、2町2村との合併の検証は

答 豪雨災害の発生もあったが順調に調整は進んだと考える

託し8団体について経営診断をした。

問 公会計を現行の総務省方式の改訂モデル式から企業会計により近い基準モデルへの転換を。

答 当分は見直さない。社会を明るくする運動への取り組みについて。

問 安全・安心のまちづくりのために、犯罪再犯に対する条例の見直しを。

答 近隣を参考に検討。社会復帰支援は地域社会の理解と協力、公的な機関や民間団体の連携も重要であるが行政としての取り組みは。

答 保護司の方々の連携をどう図るか検討する。※青少年弁論大会への参加を要望。

問 行財政改革をどのように推進したのか。

答 第6次八女市行財政改革大綱に則り、定員の適正管理、公共施設のあり方検討、市補助金の総点検を重点課題として取り組んできた。

問 指定管理、第三セクターはどう見直すのか。



松崎辰義

災害復旧が進められているが、梅雨を迎えるにあたり迂回路の整備は

答 安全な通行の確保に、関係者と連携して整備していく



笠原地区の県道迂回路

復旧ボランティアの支援について

問 ボランティアに対して十分理解されておらず、ニーズの掘り起こしが必要と言われているが、どのように考えているのか。

答 遠慮される方も多くと聞く。まずは被災農家の実態調査をやろうという

ここで、取りまとめをしていく。

農業復興推進会議を中心にボランティア団体とも連携して取り組みたい。

問 ボランティアの代表の方の話では、現場で指導する人が足りないと聞く、県へ人的配置等も要望すべきではないか。

答 現場においては2つの課題がある。ニーズの掘り起こしと、現場サイドでの対応の体制づくりが重要で、県を含めて協議をしている。

問 景観上、棚田保全のために、昔ながらのコンクリートを使わない玉石積み等に補助はできないのか。

答 中山間の事業については自力施工というのがあり、機械の借り上げ、原材料の支給をしているが、今後いろんな災害復旧の事業をして行く中で、さまざまな問題が生じてくるので研究したい。

老朽化した小河川・水路等の改修要望個所を市はいつまで放置するのか

答 今後、国庫補助事業を活用し短期間で整備を推進する



橋爪房義

問 改修要望書の受理後、永年放置している小川、水路等の老朽箇所は、緊急に完遂すべきだ。

答 約200件の要望箇所が未処理である。この解消に向け、今、検討及び計画中の事業は、有利な国庫の補助事業を活用した、次期中山間地域総合整備事業と旧八女地区では、集落基盤整備事業である。国の採択を受け、平成28年度から事業開始を目指している。この事業では、4～5年間の短期間で整備出来る可能性がある。平成27年度迄は、優先順位等従来の予算で進める。

問 職員の人材育成と行政のスピードアップ策は、課題解決に向けた自己啓発の研修、職場毎の集団研修、新人、係長、課長等は、5年、10年、15年毎の研修もしている。

問 職員採用試験の応募状況及び結果について。

答 ①大卒、高卒を対象とした一般事務、応募176人に対し15人の採用、②保育士、同25人に対し2人③社会福祉士、同6人に対し1人④一般事務(身体しよつがい者対象)、同2人に対し1人⑤建築士、同2人に対し1人の計20人を採用した。



老朽化した水路(新庄地内)

イノシシ侵入防止柵の事業効果と 検証はどのように行っていくのか

答 設置後の作物被害の状況等のアンケート調査をしたい



角田 恵一



設置されたイノシシ侵入防止柵

問 猟友会会員の高齢化・減少対策は。

答 年間経費の負担軽減を図る施策や国の鳥獣被害防止総合事業を活用した助成などを行っている。

問 シビエ（狩猟により捕獲された野生の鳥獣）の利活用促進を。

答 県段階で、シビエを地域資源として活用するため、料理方法の開発や普及活動をする「ふくおかジビエ研究会」が設立され、八女市からは商工会議所が参加している。商工会議所では、補助事業等を活用しイノシシ肉を利用した料理などの開発

事業を展開している。市としても地場産業振興事業補助金等で事業推進を図りたい。

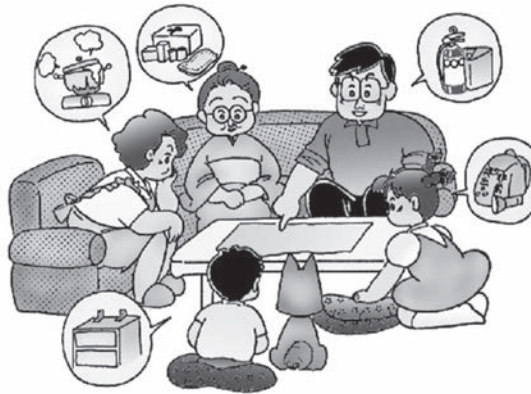
問 再生可能エネルギーの取り組みについて

答 メガソーラー事業導入について、地域から用地提供を含めて要望があっているが今後の考えは。

問 八女市再生可能エネルギー導入検討委員会での議論があつている。今年度末までに一定の方向性が示されるので、その結果により、メガソーラー事業も含めて今後の具体的な施策を検討していきたい。



小川 栄一



問 避難場所の設置ぐらいはもう出来ていいのではないか。

答 地域で一番安全な所にお願したいという事で検討している。協議が調えば市民の皆様へ周知していく段取りになると思う

問 もう3月、雨期に間に合うのか。

答 市民一人一人にあなたはどこに行きなさいというのを市が決められない。情報を提供して自分

答 市民を交えた防災対策推進協議会設置の進捗状況は復旧・復興に取り組んできたが、具体的に進んでいない

問 情報の周知が一番の問題と思うが。

答 地域には防災組織が8割ぐらい出来ていると思うが、一つのものにまとめて次の災害に備える形をきちっと策定するにはもう少し時間がかかるんじゃないかと。

問 全ての対策というのは完璧ということはあるか。

答 私どもとしては完璧を目指して努力していきたいと思っている。



大坪 久美子

もつと八女茶を飲んで健康 推進を図ろう

答

今後、生産現場とも普及啓発については努めていきたい

医療費削減のための施策について

問 胃がんを引き起こすとされるピロリ菌が原因

の慢性胃炎の除菌治療にまで、健康保険が適用されることとなった。胃炎段階から除菌することで胃がん予防につながると思われる。この際、

当市も胃がん検診に「ピロリ菌検査」を組み入れて胃がんを撲滅していただきたい。

答 ピロリ菌感染を考慮した検診については、国の研究班で評価を始めたばかりであり、その評価により今後検討していきたい。人口10万人以上の市



八女茶が一番!

や区のがん死亡率ランキングを見ているとおもしろいことがわかった。がんの死亡率が低い町は同じ特徴を持っていた。それは緑茶である。お茶にはがん予防効果があるのでないかと期待されている。八女市はお茶の生産地であり、老若男女問わず、もつとお茶を飲むべきでは。

答 市民はもとより多くの方々に八女茶を飲んでいただくよう関係団体とも連携しながら、引き続き普及啓発に努めたい。

PM2.5による大気汚染について、市民の不安を払拭する為の情報提供を

答

市のホームページやFM八女の活用を検討する



井本 政弘



八女市役所本庁舎

問 中国からの大量の飛来が懸念される大気汚染原因の微小粒子状物質PM2.5について、市民の不安を払拭する為の対策を。

答 大気汚染常時監視測定局の八女市内への設置を県に要望している。又、市内小中学校や保育所等へは、光化学オキシダント対策用の緊急連絡網を活用したい。FM八女の活用も検討している。

問 九州北部豪雨による商工業関係被災者への支援はどうなっているか。

答 市の対策として、八女市中小企業融資資金貸付利率を1.65%に引き下げる検討をしている。又、利子補給についても0.8%で対応する等、商工会議所、商工会と連携しながら今後も取り組む。

問 市役所本庁舎の駐車場問題を含め諸問題の解決の為の建替、移転等も含めて市長の考えは。

答 豪雨災害が最優先ではあるが、議会と行政との関係、耐震問題、合併推進債や合併特例交付金等の財源問題も含め平成25年度、26年度にかけて庁舎問題に関する検討委員会を立ち上げたい。